授業科目	フィールドワーク入門					単位	2
履　　修	選択	関連資格				ナンバリング	TO11501J
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP4-2		
担当教員	友原　嘉彦						
授業概要	本学科は観光文化学科であるが、この科目については特に観光に拘らない。まずはフィールドワーク（以下、FW。日本語では野外調査、現地調査）をよく知ることで、抵抗感がないようになってもらいたい。講義の前半は座学で現地の概要について知り、また、調査項目を作成する。中盤は実際に FW に出かける。後半は FW の結果を分析、考察し、対象についての現状と課題をまとめた上で、パワーポイントを使用しての口頭発表、及び、その準備期間となる。 調査対象地は北九州市内、あるいは、近郊を予定している。調査は観光に囚われることなく、どのような内容のものでもよい。一般的なインタビューやアンケートだけでなく、（参与）観察なども可能である。 なお、期末試験は実施せず、講義への取り組みから成績評価を行なう。 ＊本来、FW とは実際に現場に行き、調査することであるが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、調査は　電話やインターネットの活用（メールやアンケートアプリ、モニター上での街路風景の観察など）で代えるこ　ととする。 ◆本科目は遠隔講義である。						
学生が達成すべき行動目標	1) FW 前に調査対象の概要を把握しておくことができる。 2) FW の目的と方法を理解し、実際に遂行することができる。 3) FW の成果を分析、考察した上で、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	70	0	10	100	
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）				10			10	
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）			10	10			20	
思考・判断（DP2-2）			10	15			25	
関心・意欲（DP3-1）				10			10	
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)				15		10	25	
態度(DP4-2)				10			10	
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
現地の事象について充分に下調べをした上で、FW を行ない、対象の現状と課題について考察し、実現性の高い新たな取り組みや付加価値を提案することができる。	現地の事象について充分に下調べをした上で、FW を行ない、対象の現状と課題について考察し、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	・ガイダンス ・フィールドワークの目的 1	講義	復習	80
2	・グループと発表順の決定 ・フィールドワークの目的 2	講義	発表の準備、復習	240
3	フィールドワークの方法	講義	発表の準備、復習	240
4	グループ発表 1-1(調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など)	議論	発表の準備、復習	240
5	グループ発表 1-2(調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など)	議論	発表の準備、復習	240
6	グループ発表 1-3(調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など)	議論	発表の準備、復習	240
7	グループ発表 1-4(調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など)	議論	発表の準備、復習	240
8	グループ発表 2-1(①グループ発表 1 の加筆修正＝調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など＝、②調査項目)	議論	発表の準備、復習	240
9	グループ発表 2-2(①グループ発表 1 の加筆修正＝調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など＝、②調査項目)	議論	発表の準備、復習	240
10	グループ発表 2-3(①グループ発表 1 の加筆修正＝調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など＝、②調査項目)	議論	発表の準備、復習	240
11	グループ発表 2-4(①グループ発表 1 の加筆修正＝調査の目的、方法、対象の概要説明、先行論文紹介など＝、②調査項目)	議論	発表の準備、復習	240
12	グループ発表 3-1(成果発表＝分析、考察など＝)	議論	発表の準備、復習	240
13	グループ発表 3-2(成果発表＝分析、考察など＝)	議論	発表の準備、復習	240
14	グループ発表 3-3, 4(成果発表＝分析、考察など＝)	議論	発表の準備、復習	240
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	日頃より新聞やインターネットなどで国内外のおもしろい事象とその動向を把握しておくこと。
テキスト	レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・谷富夫・芦田徹郎編著（2009）『よくわかる質的社会調査　技法編』、ミネルヴァ書房、2500 円＋税 ・谷富夫・山本努編著（2010）『よくわかる質的社会調査　プロセス編』、ミネルヴァ書房、2500 円＋税
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	FW に必ず参加できるよう、部活動やサークル、アルバイトなどの日程調整をお願いします。
達成度評価に関するコメント	文書や映像などから知り、実際に現地で触れたり、調べたりして、おもしろいことを提案できるようになりましょう。 達成度評価の「そのほか」とは、授業への参加・貢献度です。単に出席しているだけではなく、（意義のある）意見を発言してくれたり、過ぎた講義回での項目について復習していることで簡潔にまとめて説明してくれたり、といったことが得点の増加に関係します。一方、これらが不十分なだけでなく、授業を中断せざるをえないほどの声量で授業とは無関係のことについてしゃべっているなどした場合は得点の減少に繋がります。